

## 23-9 資本主義的生産は、人間材料についてはどこまでも浪費をこととする

「労働者は自分の生活の最大の部分を生産過程で過ごすのだから、生産過程の条件はその大きな部分が彼の現実の生活過程の条件なのであり、彼の生活条件なのであって、この生活条件の節約は、利潤率を高くするための方法なのである。……およそ資本主義的生産は、ありとあらゆるけちくささにもかかわらず、人間材料についてはどこまでも浪費をこととするのであって、それは、ちょうど、この生産様式が他方では、その生産物を商業をつうじて分配する方法や競争というやり方のおかげで、物質的手段を非常にむだ使いしていながら一方で個々の資本家にもうけさせるものを他方で社会の損失にするのと同じことなのである。」（大月版『資本論』④P109F2-B6）